

ファザーズ

開隆人

小泉澄夫・絵



掘りごたつに入って、家族そろっての晩御飯の最中。ハンバーグを口いっぱいにはおぼったら、思いつきりのどに詰まった。オレの家には、ばあちゃんが居るから、晩御飯のおかずは、焼き魚や煮物なんていう年寄りくさいものがほとんどで、久しぶりのハンバーグに、舞い上がってしまったのだ。左手でご飯茶碗を持ったまま、右手で汁碗を持ち上げて口をつけ、味噌汁でのどに詰まったハンバーグを流し込もうとした。

その時、ものすごい衝撃で味噌汁のお碗が顔にぶつかった。オレはそのまま真後ろにぶっ倒れ、気がついたら、顔中味噌汁まみれで、天井の蛍光灯を見上げていた。味噌汁は鼻からのどにも回り、メチャメチャ苦しかったので、手鼻をかんで起き上がった。

「アキラ！ 大丈夫かい」

母ちゃんとはあちゃんが、あわててオレに駆け寄ったが、オレのとなりに座っている父ちゃんは、何事もなかったかのように、振り返りもせず、黙ってご飯を食べていた。

「いったい、何があったの？」

オレは、訳も分からず母ちゃんに聞いた。

「味噌汁碗ごと、お父さんに裏拳でぶっとばされたんだよ」

「はあ？ なんで」

父ちゃんは、やはり振り返らず、黙って食べている。

「お前の行儀が悪いからさ。ご飯茶碗と味噌汁を両手で持